

米国数理心理学会・ピッツバーグ大学医学部ミーティング 参加報告

国里 愛彦

2015年7月17日から米国カリフォルニア州ニューポートビーチにて開催されたThe 48th Annual Meeting of the Society for Mathematical Psychologyに参加し、7月21日にはピッツバーグ大学医学部のGreg J. Siegle博士の研究室にて、“Decision Making in Depression: A viewpoint from Computational Clinical Psychology”と題するトークを行った。

The 48th Annual Meeting of the Society for Mathematical Psychologyにおいては、共同研究者である研究室の大学院生、坂本次郎・柚取恵太・田中利夫がポスター発表を行った。カリフォルニアはあまり雨が降らないので、屋外でのポスター発表が予定されていたが、私たちの滞在中は雨が続き、半屋内での発表となった（私たちの誰かがカリフォルニアに雨を降らすほどの雨男なのだろう）。昨年度より、研究室ではMichael D. Lee先生とEric-Jan Wagenmakers先生による「Bayesian Cognitive Modeling: A Practical Course (Cambridge University Press)」について学んでおり、グラフィカルモデリングを用いたモデルの可視化と階層ベイズを用いたパラメータ推定を、実際の研究データに適用してきた。今回参加した学会は、Lee先生の所属するカリフォルニア大学アーバイン校が主催であったことも関係するかもしれないが、多くの発表においてグラフィカルモデリングを用いたモデルの可視化と階層ベイズを用いたパラメータ推定が行われていた。数理心理学会ということもあるのかと思うが、今後グラフィカルモデリングや階層ベイズが必須の研究ツールになることを実感させる学会であった。なお、本学会参加中は、長期在外研究員としてカリフォルニア大学アーバイン校におられた岡田謙介先生（人間科学部心理学科准教授／心理科学研究センター研究員）には大変お世話になった。この場を借りて、深く感謝申し上げます。

学会参加後は、ピッツバーグに移動した。カリフォルニアとピッツバーグの距離を甘く見ていたため、想像以上に過酷な出張になったが、非常に有意義なものであった。21日の午後には、ピッツバーグ大学医学部のGreg J. Siegle博士の研究室にてトークをさせていただいた。トークには強化学習理論に詳しい研究者も参加しており、うつ病における報酬と罰に関する意思決定に関する非常にエキサイティングなディスカッションを行うことができた。その後、Greg J. Siegle博士

の研究室を見学させていただいた。徹底的に効率化され研究に特化したフロアと独創的な実験機材などを見学させていただき、深く感銘を受けた。その後、ピッツバーグ大学全体を見学した。キャンパスの美しさもさることながら、多くの医学誌で目にするピッツバーグ大学医学部の巨大さに圧倒された。なお、ピッツバーグ大学医学部のSiegle博士の研究室訪問とトークに関しては、当時Siegle博士の研究室でポスドクをしていた山本哲也先生（徳島大学大学院大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部特任講師）のご尽力により実現することができた。この場を借りて深く感謝申し上げます。

発表題目

Sakamoto, J., Somatori, K., Okubo, M., & Kunisato, Y. (2015). Depression and Intertemporal Choice of Pain: Maximum Likelihood Estimation vs. Hierarchical Bayesian Analysis. The 48th Annual Meeting of the Society for Mathematical Psychology, Newport Beach, California, USA.

Somatori, K., Sakamoto, J., Shimotomai, A., & Kunisato, Y. (2015). What is a true measure for meta-cognition?: A Bayesian cognitive modeling approach. The 48th Annual Meeting of the Society for Mathematical Psychology, Newport Beach, California, USA.

Tanaka, T., Kunisato, Y., Okada, K., & Okubo, M. (2015). Why people frequently commit the base-rate fallacy. The 48th Annual Meeting of the Society for Mathematical Psychology, Newport Beach, California, USA.

Kunisato, Y. (2015). Decision Making in Depression: A viewpoint from computational Clinical Psychology. The Program in Cognitive Affective Neuroscience (PICAN), Pittsburgh, Pennsylvania, USA.